

教育目標

ふるさとに誇りを持ち、夢の実現に向かって生き生き学ぶ腹赤っ子の育成
～ 笑顔 挑戦 思いやり ～

はらか



重点的に育成を
めざす資質・能力

- やり通す力(笑顔)
- 考動力(挑戦)
- 協働する力(思いやり)

後期が始まりました

10月11日(火)から後期が始まりました。過ごしやすい気候となり、勉強にも集中できる時期となりました。前期の反省を踏まえ、後期の目標をしっかりと持って、学校生活を過ごしてほしいと願っています。

後期始業式の話より

今日は腹赤小学校のキャッチフレーズ、笑顔、挑戦、思いやりの中の「思いやり」に関する話をします。みんなは、「口」「目」「耳」「手足」「心」を持っていますね。この5つは、人間が生きていく上で大事なものです。どのように使っていけばいいのでしょうか？「口」は言葉を発することができますが、大事なものは、「口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使う」ということです。人を傷つけたりする言葉を言うために使うものではありません。いろいろなものが見える目ですが、「目は、人の良いところを見るために」使いましょう。それから、「耳は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために」使いましょう。授業中に友だちの発表をしっかりと聞くことも大切です。さらに、「手足は、人を助けるために」「心は、人の傷みが分かるために」使いましょう。これらは、腰塚勇人さんという人の言葉です。腰塚さんは、スキーの事故で首を骨折し、一生寝たきりになると言われ、生きる意欲を失いかけてました。しかし、周囲の人の励ましや支えによって立ち直り、人は人によって支えられ生かされていると気づきました。こうした人生を経て腰塚さんが語った言葉なのです。腹赤小の先生方は、「みんな笑顔で思いやりのある腹赤小学校」にしたいと思っています。そのために、温かな言葉や温かなまなざし、人の傷みが分かる心などを大切にしていきましょう。



町陸上記録会

10月20日(木)にコロナ禍で2年間中止となっていた長洲町陸上記録会が、3年ぶりに開催されました。5・6年のみの参加で、午前中終了の日程で行われましたが、腹赤っ子の元気一杯な姿をたくさん見ることができました。



1位のみ紹介します(敬称略)

- 6女 100m：原田結衣 14秒6
- 5男 800m：馬場凜太 2分45秒(大会タイ)
- 5女 800m：古澤夢叶 3分04秒
- 5男 ソフトボール投げ：木戸駿希 40m
- 5女 ソフトボール投げ：宮本莉那 26m
- 5男 400mリレー：1分4秒2

児童集会

後期から児童集会の時間を設定しました。10月12日は、運営委員会と環境委員会の発表でした。運営委員会からは「登校班で一礼」「チャイム黙想」について、動画をもとに気づきを出し合い、考える発表がありました。環境委員会からは、節水、節電、無言掃除等の呼びかけの発表がありました。しばらく実施できていなかった参集型の児童集会でしたが、堂々とした発表が見られました。「子どもの出番づくり」の大切さを改めて実感しました。



11月の行事について

- 1日(火)：5・6年防災学習
学校運営協議会(第3回)
 - 7日(月)：腹赤中校区合同校内研修
 - 10日(木)：1・2・3年見学旅行
 - 11日(金)：4年見学旅行
5年「夢の教室」
読み聞かせ
 - 14日(月)：教育実習終了
 - 17日(木)～18日(金)：5年宿泊教室
 - 22日(火)：地域合同防災教室
学校運営協議会(第4回)
 - 24日(木)～25日(金)：教育相談
- ※腹赤小学校のホームページ 随時、更新しています。🏠[腹赤小学校](#)で検索